

環境掲示板

●丸池のきれいぼり大作戦

池の水を全部抜き、生き物の調査と池の修理をします

日時 11月6日(土) 9:30~12:30

場所 新川丸池公園

丸池の里わくわく村と三鷹市緑と公園課により実施されます。希望の方は見学ができます。

問合せ 花と緑のまち三鷹創造協会

電話 0422-45-8351

●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 11月7日(日) 13:00~14:30

12月5日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 11月13日(土) 9:00~12:00

12月11日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

編集後記

10月には、名古屋で生物多様性条約第10回締結国会議が行われた。生物多様性は、普段は一般の人々にはあまりなじみのない言葉であったが、TVなどでもよく取り上げられ、少しは理解が広がったのではないかと考えている。(安達)

●第65回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ 「はっぱの色葉 (いろは)」

日時 11月23日(火・祝) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

●Tシャツからルームシューズ作り

主催 ごみ対策課

日時 11月24日(水) 12:30~15:30

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 8名(多数の場合は抽選) 無料

申込 往復はがきで11月17日(水)

必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2534

●誕生記念植樹プレゼント

主催 花と緑のまち三鷹創造協会

日時 11月25日(木)

申込 事前に往復はがきで

11月7日(日)~15日(月)必着で

花と緑のまち三鷹創造協会へ申込む

問合せ 0422-45-8351

発行:みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先:三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第30号

2010年11月1日発行

みどりを残す風景づくり

三鷹市域のヒートアイランド化は年々進んでいるようです。市街地道路の気温が井の頭公園の緑地と比べて5℃以上も高かったという記録が紹介されています(「環境ひろば」第17号)。木陰はクールスポットです。

緑と水を守ることが、「三鷹市環境基本計画」、「三鷹市緑と水の基本計画」にうたわれています。市域のみどり、殊に樹林、街路樹をはじめ1本の樹木にいたるまでも、身近の市民にとって、心身の癒しとなり、その生活、歴史、文化に関わる大切な景観なのです。

数年前に「すずかけ通り」に名を残したスズカケノキの大木の最後の1本が、伐採されてしまいました。昨年冬には、東八道路のクスノキ、ケヤキなどの街路樹の大木が突然、何本も伐採されました。多くの年月をかけた高木が、植栽改良工事の名の下に無残に切り倒された現状に残念な思いがしました(「環境ひろば」第12号)。玉川上水脇や都道拡幅工事でも高木が伐採されました。

既存の緑地を宅地などに転用する要求に対して環境と景観保全をどのように対処するかが問われています。

このようななかで、市は今年に入って



深大寺公園(深大寺3丁目)のイチョウ

三鷹の「風景づくり計画(仮称)」の策定中で、これに向け「まち歩きとワークショップ」をすすめています(広報みたか、8/15号)。まち歩きを通して、地域のすばらしさを再発見するとあり、そのすばらしさのなかに市域に残る豊かなみどりの保全を考えたい。空き地に花のみどりを創造すると同時に、威風あたりをはらうクスノキ、シラカシ、イチョウなど日常慣れ親しんだ大木や名木を残した三鷹の景観・風景づくりにしたいものです。(山口)

環境に配慮した都市農業の取り組み

JA 東京むさし

東京の農業は、消費者の食生活のすぐ身近にあり、密接に結びつき、その多様な要望や需要をまかなうため、新鮮でバラエティーに富んだ農畜産物を数多く生産しています。また、トレーサビリティ(※1)やエコファーマー(※2)の認証取得などの「食の安全・安心対策」を徹底し、新鮮な農畜産物を届けるためにJA 東京グループ全体で取り組んでいるところです。

JA 東京むさしでは市民の皆様にも都市農業への理解を深めてもらう取り組みと、環境に配慮した農業、そして、食育活動を3大テーマとして取り組んでいます。

市民の皆様にも農業理解を深めてもらう取り組みとしては、学校給食の残渣と剪定枝を堆肥化し、その堆肥を使用して栽培したトウモロコシなどのエコ野菜の無料配布や、学校給食への農産物の提供などを行ってきました。

環境に配慮した取り組みとして、ナスの害虫であるアブラムシなどを捕食する天敵を呼び寄せるバンカープランツで減農薬を図ったり、飛散防止ネットを使用し消毒時の農薬の飛散を抑えるといった対策を講じてきました。

また、食育活動の取り組みについては、小学校の授業や学校農園の指導を行い、さらには、野菜の栽培時期や旬の農産物を使ったレシピなどを載せた食育カレ



© JA東京むさし

JA 東京むさしのマスコットキャラクター カワセミの「ムーちゃん」

ンダーを作り、市内の各小学校へ配布を行ってきました。

JA 東京むさしに取り組んでいるこれらの活動は、顔の見える農業だけでは得られない消費者の皆様との更なる信頼関係の構築につながるものと確信しています。大切に育てた農畜産物を食べて喜んで頂ける人々に新鮮・安全・安心な農畜産物を提供し続けていきます。

～～ JA 東京むさしの経営理念～～

JA 東京むさしは、地域の人々とともに自然環境を守り、健康で豊かな『農』を基にしたまちづくりをめざします。

『ありがとう』といわれるJA 笑顔と感謝の地域づくりに貢献します。
(※1)農産物の安全性を知らせる為に生育や出荷前の段階での管理を記したものです。

(※2)農薬の適正使用は元より、減農薬に努め環境に配慮した農業を心がけている農業者です。

都市のみどりを守るフォーラム

9月25日(土)午後、三鷹市暫定管理地で「都市のみどりを守るフォーラム」が、「東京みどりの研究会」主催で行われた。武蔵野市、中野区、杉並区、板橋区からは区長、練馬・世田谷・大田区からは副区長、それに、国土交通省都市・地域整備局公園・景観課の課長、東京都建設局公園緑地部の部長も参加し、清原三鷹市長の司会で行われた。今回は「住民との協働による緑の創出」がテーマとして取り上げられ、報告と討論があった。

最後に「みどりのアピール in 三鷹」が宣言された。その主な内容は、①公園緑地や街路樹、河川沿いのみどり、屋敷林や貴重な樹木、農地等の相互に結びつき、連続したみどりの創出、②自治体間の連



都市のみどりを守るフォーラム

帯を強め、みどりを保全・創出するための協働の仕組みや施策の創出、③既存の法制度の有効な活用と各種税制度等の軽減処置ならびに緑地保全を図る為の財政処置の充実を関係機関に働きかける、というものであった。(安達)

市役所の窓：私と朝チャレ！

「朝チャレ！」という言葉をご存じでしょうか。エコなライフスタイルとして、「朝型生活にチャレンジしよう」という取り組みだそうです。

確かに朝早く起きて、運動したり雑用を片付けたりすれば、一日爽やかにすごせるでしょうし、夜早く寝れば、その分不要な電力消費が避けられます。まさに一石二鳥。

しかし、我が生活を振り返ってみれば、平日は起き抜けに家を飛び出し、休日は夜更かし三昧。全くエコでも健康的でも

ありません。

世の中には、朝型生活用に、7時から始まる英会話教室もあるそうで。アフターファイブの飲み会も大好きですが、ピフォーエイトの朝食会なんてものも素敵ですね。

暑かった夏もそろそろ秋へ移行するころでしょうか。秋の夜長とは言いますが、今年の秋は夜更かしせずに、「朝チャレ！」したいと思います。

契約管理課 富樫久美子